

個々の生徒の能力を伸ばし 将来を切り拓くことのできる教育を

理科の教師であるとともに、高校で進路課長、中学校では教務課長という立場から長い間生徒たちを見てこられた内田先生。いつも生徒のことを中心に考えている内田先生に教育に対する想いをお聞きました。



金城学院中学校 内田 孝 教諭

- 岐阜大学工学部工業化学科卒業
- 同年、金城学院中学校理科教諭に着任
- 金城学院高等学校進路課長を経て、中学校教務課長を務める

生徒の将来を見据える 教務課としての仕事

中学校の教務課では、入学から卒業まで、また卒業してからも大学進学や留学の際の成績証明の発行など、あらゆることを行っています。高校に勤めていたときは進路課でしたので、卒業後に関することを中心に行っていたのですが、中学校教務課は小学校からの入学を始まりに、中学校を卒業して高校進学まで、さらには、金城

学院は中高6年の一貫教育ですから、大学進学のことまで、一人の生徒の学校生活を長い間見続けることになりますね。

また、高校の進路課では、生徒の希望を聞き、生徒一人ひとりの能力を伸ばす手助けをしてきました。ですから、私が中学校の教務課に勤めることになったのも、高校の進路指導の経験を踏まえた上で、まだまだ先が見えていない中学生のうちから、将来を見据えた教育にあたるためだと思っています。

将来の夢を持って 大学に進学してほしい

中高一貫の6年間のうち、中学2、3年生というのは、一般的に学力が下がってしまう時期なんですね。1年生の頃は、小学校の頃から続けて塾に通っていて、周りが同じくらいの成績なので勉強するのですが、2年生になると中だるみというか、勉強しなくなってしまいます。ですから、まずは、自分が将来どういう人になりたいのかと

ということと、そのためには何が足りないのかということをしっかり考えるように指導しています。

また今年からは、卒業を控えた金城学院大学の4年生に、中学生の前で話をしてもらっています。というのも、金城学院の大学生がどうしているのかを中学校の生徒に見せ、彼女たちも金城学院大学に進学して、自分の能力を伸ばしてほしいと思うからです。きちんと大学の情報を伝えて、具体的な像を見せることで、それをきっかけに将来について考えて欲しいと思っています。少し早いかもしれませんが、中学生のうちから将来に関わる情報を与えて、生徒の能力を開花させ、さらには伸ばしてあげられたらいいなと思うのです。

神に導かれた

金城学院との出会い

私の家庭は、父親、母親ともにクリスチャンで、家のすぐ隣には教会がありました。私は生まれてすぐに、その教会で受洗し、幼少の頃から教会に通っていました。大変厳しい教会でしたので、礼拝のある日曜日に行われる運動会は毎回学校を欠席していましたね。

大学を卒業後、実は初めから学校の先生になるつもりではありませんでした。ところが、就職した会社の薬品で体調を崩してしまい、金城学院で事務をしていた知り合いに相談したところ、ちょうど理科の先生の欠員があるということで、問い合わせました。すると、「会社を辞めてすぐに来なさい」という返事をいただいたのです。これも、神が導いてくれたものかもしれません。

ところが急に中学校に来たものですから、初めは中学生の言葉が理解できなくてびっくりしました。それに、私は理科が好きだったので、理科が分からない生徒の気持ちがよく理解できなくて、まずはそこに苦勞しましたね。どう教えたらいいのだろうと思いました。



6月の花の日に、近くの交番へ日曜学校小学科の生徒と訪問

「何が分からないのか」を 教えることが教育

教師をしながら大学の夜間にも通っているときに、理科の教科教育法の授業で、「先生が一生懸命に説明して生徒に分かったと思わせるのはよくない」と教えられたんです。「自分が何が分からないのかをちゃんと教えてあげなさい」と。そのときの言葉がずっと

胸に残っていて、今でもそれを自分の教育の指針にしています。もちろん面白い授業も必要なので、マジックのようなことを披露して、理科は面白いと思ってもらえるように工夫したり、「勉強してここは分かった。よし、次はここを勉強しよう」というように、次に進むきっかけを与える、そういう授業をしたいと思っています。

内田先生はこんな人

いつもニコニコしている内田先生。怒っているところは見たことがありません。

理科の授業のときも、いつもゆっくりと丁寧に教えてくださいます。また、教科書に載っていることだけでなく、生活に役立つような豆知識も教えてくださいます。例えば、怒りっぽい人はカルシウムが豊富な野菜を多く食べるといいとか、チンゲンサイは日本産よりも中国産のほうがカリウムが多く含まれていて、栄養価が高いとか…。

先生のお話を聞いていると毎日の暮らしの中に理科が溢れていることを教えられます。



内田先生と一緒に。
左から浅田菜那さん、加藤なつ姫さん、堀井麻有さん、印藤舞衣子さん